

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

生活科

夏と秋の、校庭の木や花壇の**写真を比較**し、変化や違いを共有し、学習課題を明確にする。

1 学習場面

調査活動（個別学習）

2 本時の目標

自然との関わりを通して、夏から秋への変化を感じ、表現することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

夏に記録した紙の観察カードに書かれている絵や文章と比較する。



After

児童は日常過ごす、同じ場所の季節の変化を、**写真に書き込みながら**比較する。
実際に体験してきたことを**写真で確認**することで、気づきの質を高めていく。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○夏から秋への自然の**変化を可視化**することで、同じ木、同じ花壇、同じ場所の変化が比較しやすい。

○秋ならではの自然の遊びについて、気づきの質を高めることができる。

★対象に十分関わらせることが前提にあり、思考の整理のための時間と位置付ける。

★秋の遊びまでつなげられるように意識する。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

生活科

虫がいたところを**写真に撮り**、情報を収集し調べて、飼育環境を準備する。

1 学習場面

調査活動（個別学習）

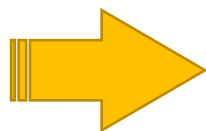
2 本時の目標

育てようとしている動植物に合った世話の仕方があることに気付くことができる。

3 授業内容をアップデート

Before

つかまえてきた虫を虫かごに入れたまま、飼育環境を考え、整える。



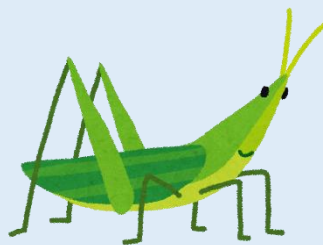
After

児童は育てたい虫がいた場所の環境を写真にとり、それ元に**ICTを活用**して情報を集める。また、調べた飼育環境を整える際、同じ虫を育てたい友達と相談しながら準備をすすめる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 児童は虫の命を預かることを意識し、自分事として対象に関わろうとすることができる。
- 新しい考えを知り、気づきの質を高めることができる。
- ★対象に十分関わらせ、根拠をもって世話ができるように、思考する時間を確保する。
- ★実際に虫を育てる時には、繰り返し試行錯誤させる必要がある。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

生活科

端末でミニトマトの成長記録を残し、情報共有し、友達と互いに学び合う。

1 学習場面

協働での意見整理（協働学習）

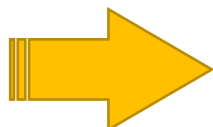
2 本時の目標

ミニトマトが喜ぶ世話のしかたを「〇〇だから、△△する」と、根拠をもとに友達とかかわり合いながら話したり、思いを書いたりすることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

教師が作成した紙のカードに絵や文章を書き、成長記録として残していく。



After

児童は**端末上で**写真に書き込みをしながら**記録に残し**たり、カードに書いたり、取り組みやすいことを選択する。
情報共有ソフトを使って同じ世話をする友達と**情報を共有**し、気づきの質を高めていく。

4 学習のポイント

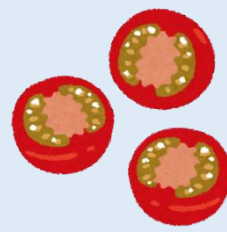
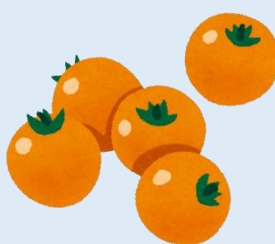
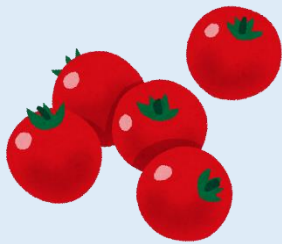
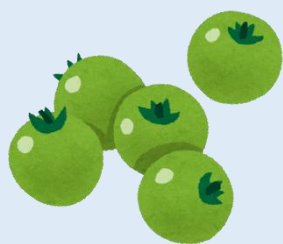
○期待される効果 ★留意点

○思考を深め、自分の考えを整理することができる。

○新しい考えを知り、気づきの質を高めることができる。

★対象に十分関わらせ、根拠をもって世話ができるように、思考する時間を確保する。

★表現活動までつなげられるように意識して記録を残す。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

生活科

端末でミニトマトの成長記録を振り返り情報発信する。

1 学習場面

表現・制作（個別学習）

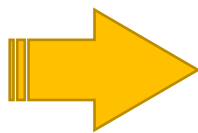
2 本時の目標

ミニトマトの栽培活動を通して感じたことをもとに、見つけたり、比べたり、例えたりして、わかりやすい伝え方の工夫を考えることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

教師が準備した発表方法から選んだやり方で、決められた相手に表現する。



After

名前を付けて育て、収穫した自分だけのミニトマト。その都度トマスタグラムで記録してきた発見やアクシデントなどを、自分の伝えたい方法で相手に伝える。作成した「ミニトマト物語」を動画に撮影し、更に活動の広がりを考える。

4 学習のポイント

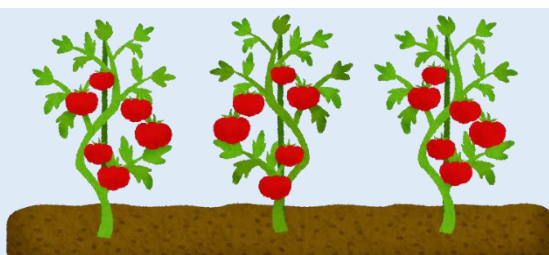
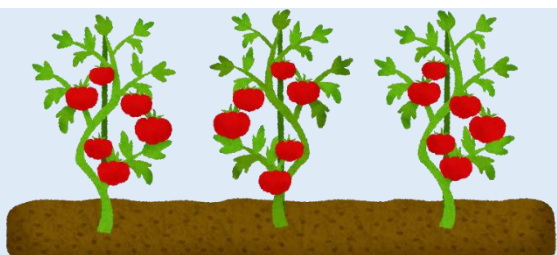
○期待される効果 ★留意点

○他教科との関連で作成した「ミニトマトの詩」「ミニトマトのリズムや効果音」なども、情報共有ソフトで共有する。

○端末利用が日常的なため、様々な表現方法が考えられる。

○何をどのように伝えるか考える中で、伝えたい相手を、児童が考えることができる。

★表現活動までつなげられるように意識して記録を残す。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善